

3) 辻 陽雄：外来レベルでの腰痛の基礎と臨床。吉富製薬学術講演会，1983，6，名古屋。

4) 辻 陽雄：痛みの科学——骨の危険信号と健康法——。第4回富山県婦人大学校講演，1983，8，富山。

5) 辻 陽雄：腰痛解析の基礎と臨床。第2回大分県整形外科セミナー講演，1983，8，大分。

6) 辻 陽雄：労働と腰痛——その診断と治療——。昭和58年度産業保険研修会講演，1983，10，富山。

7) 辻 陽雄：骨関節X線像の見方・考え方。砺波医師会講演，1983，11，砺波。

産科婦人科学

教 授	泉 陸 一
講 師	長 阪 恒 樹
講 師	新 居 隆
講 師	川 端 正 清
助 手	細 川 仁
助 手	山 岸 雅 司
助 手	津 留 明 彦
助 手	伏 木 弘

◆ 原 著

1) 泉 隆一，長阪恒樹，川端正清，新居 隆：卵巣がんの制癌剤感受性テスト。臨床婦産 37：481—486，1983。

2) 泉 隆一：endometrioid carcinoma。産と婦 50：795—799，1983。

3) 泉 隆一：腹痛をきたす小児の婦人科的疾患。小児内科 15：207—211，1983。

4) 柳沼 恣，泉 隆一：Polycystic ovary syndrome。日本臨床 41春季増刊号「本邦臨床統計集」：891—897，1983。

5) 柳沼 恣，小林拓郎，長阪恒樹，泉 隆一：閉経あるいは去勢後婦人のLH放出に対するDanazolの効果。日本内分泌 59：1458，1983。

6) 泉 隆一：低悪性度腺腫の予後診断。産と婦 49：470—472，1982。

◆ そ の 他

1) 泉 隆一：子宮の炎症。「今日の治療指針」，623—624，医学書院，1983。

2) 泉 隆一，柳沼 恣：Stein-Leventhal Syndrome。小児内科 15増刊号「小児症候群」，663，1983。

3) 泉 隆一，長阪恒樹：Toxic shock

syndrome。小児内科 15増刊号「小児症候群」，699，1983。

◆ 学会報告

1) 長阪恒樹，柳沼 恣，泉 隆一，藤盛亮寿：大量のDanazolのLH濃度に対する効果。第4回エンドメトリオーシス研究会，1983，1，京都。

2) 柳沼 恣，長阪恒樹，泉 隆一，藤盛亮寿：常用量のDanazolのLHおよびEstradiolの放出に対する効果。第4回エンドメトリオーシス研究会，1983，1，京都。

3) 長阪恒樹，新居 隆，泉 隆一，柳沼 恣，川端正清，細川 仁，八木義仁，加藤 潔，山岸雅司，伏木 弘，津留明彦：当科におけるマイクロサージェリー研修の実際。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

4) 川端正清，泉 隆一，柳沼 恣，長阪恒樹，新居 隆，細川 仁，八木義仁，加藤 潔，山岸雅司：癌化学療法における副作用から見た多剤併用療法の問題点。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

5) 加藤 潔，八木義仁，長阪恒樹，泉 隆一，柳沼 恣，新居 隆，川端正清，細川 仁，山岸雅司：malignant mixed müllerian tumorの一例。第11回日産婦学会北陸連合地方部会，1983，6，富山。

6) Nagasaka T., Izumi R., Kawabata M. and Yaginuma T.: Evaluation of in Vitro Chemosensitivity Test for Human Gynecologic Cancer. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

7) Nagasaka T., Yaginuma T., Izumi R. and Minaguchi H.: Antigonadotropic Effects of Danazol. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

8) Kawabata M., Izumi R., Yaginuma T. and Nagasaka T.: Characterization of a Newly Established Human Tumor Cell Line from a Patient with Cervical Cancer and its Sensitivity to Anticancer Agents in Vivo and in Vitro. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

9) Yaginuma T., Izumi R., Arai T. and Kawabata M.: Estrogen Positive Feedback can Function without Blood LH Pulse. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

10) Yaginuma T., Nagasaka T., Izumi R. and Kawabata M.: Effect of Shakuyaku-Kanzo-

To and Kanzo-To (Kampoyaku, Traditional Herbal Medicines) on Serum Testosterone Levels in Hyperandrogenic Women. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

11) Yaginuma T., Izumi R., Nagasaka T. and Yamagishi M.: Mechanism for Danazol to Inhibit Ovulation-its Effect on Blood LH Pulses. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

12) Yaginuma T., Izumi R., Nagasaka T. and kawabata M.: Differences in Urinary Catecholamines Concentration Between Deliveries in Lithotomy and Sitting Position. The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

13) 泉 隆一, 川端正清, 細川 仁, 新居 隆, 長阪恒樹: 子宮頸部扁平上皮癌の化学療法—ヌードマウス移植株による検討から—。第31回日産婦学会北日本連合地方部会, 1983, 10, 金沢。

14) 八木義仁, 新居 隆, 津留明彦, 長阪恒樹, 川端正清, 細川 仁, 山岸雅司, 伏木 弘, 梅 雅司, 泉 隆一: 電気分解法による局所胎盤血流量測定を試み, 第31回日産婦学会北日本連合地方部会, 1983, 10, 金沢。

15) 新居 隆, 泉 隆一, 柳沼 恣, 長阪恒樹, 川端正清, 細川 仁, 山岸雅司: 尿中 Hydroxyproline の子宮頸癌骨転移診断法としての評価。第21回日本癌治療学会総会, 1983, 10, 名古屋。

16) 長阪恒樹: プロスタグランディンについて, 富山県女子薬剤師会, 1983, 11, 富山。

17) 細川 仁, 加藤 潔, 川端正清, 泉 隆一: 著明な骨形成能をもつ子宮体部平滑筋肉腫の一例。第22回日本臨床細胞学会秋季大会, 1983, 11, 長崎。

18) 長阪恒樹, 新居 隆, 泉 隆一: 当科における体外受精のための採卵時期決定法。第19回日本不妊学会北陸支部総会, 1983, 12, 金沢。

19) 寺田為義, 梅田慶一, 片山 喬, 泉 隆一, 新居 隆: AIH により妊娠した逆行性射精の1例。第19回日本不妊学会北陸支部総会, 1983, 12, 金沢。

講	師	栗	原	秀	行
講	師	山	田	祐	司
助	手	宝	田	千	賀子
助	手	中	屋	博	
助	手	山	下	泉	
助	手	石	田	俊	郎
助	手	田	中	良	則
助	手	浅	香	猶	子
助	手	田	畑	晃	
技	官	水	見	由	美子

◆ 著 書

1) Nose H., Nakamura Y., Asanagi K., Nose T.: Transcranial orbitotomy for orbital tumor surgery: International Congress of Ophthalmology: 1039—1042, 1983.

2) 中村泰久: 眼窩腫瘍のCT像。「眼科MOOK 19, 眼の腫瘍性疾患」, 202—210, 金原出版, 1983.

◆ 原 著

1) 窪田靖夫: 網膜色素変性症患者と運転免許および交通事故の問題。眼臨医報 77: 17—18, 1983.

2) 窪田靖夫, 窪田叔子: 富山県における視覚障害者の統計的観察。眼臨医報 77: 429—433, 1983.

3) 窪田靖夫: 網膜色素変性症の薬物療法。日本の眼科 54: 79—80, 1983.

4) 窪田叔子, 窪田靖夫, 飯田博行, 大谷 勲: 角膜変性を伴った原発性 Oxalosis の1例。日眼会誌 87: 639—643, 1983.

5) 飯田博行, 寺田康人, 窪田叔子: 骨髄肉芽腫とぶどう膜炎を伴った急性間質性腎炎(Dobrin 症候群)の1例。日内会誌 72: 1414—1419, 1983.

6) 窪田叔子: Sieman Syndrome. 小児内科 15: 1983臨時増刊号 639—640, 1983.

7) 窪田叔子: Urbach Wieth Syndrome. 小児内科 15: 1983臨時増刊号 707—708, 1983.

8) 栗原秀行: 1眼に網膜色素変性症, 他眼に色素性傍静脈脈絡膜萎縮症類似の所見を認めた1例について。臨床眼科 37: 38—39, 1983.

9) 宝田千賀子, 中屋 博, 氷見由美子: 乳児, 幼児の屈折検査成績とくに9カ月児および1歳6カ月児について。臨床眼科 37: 923—928, 1983.

10) 宝田千賀子, 氷見由美子: 弱視および内斜視の屈折異常について。眼臨医報 77: 120—125, 1983.

11) 宝田千賀子, 山田祐司, 中村泰久: いわゆる Miotic Induced Malignant Glaucoma の1例。日眼紀 33: 866, 1983.

眼 科 学

教	授	窪	田	靖	夫
助	教	授	中	村	泰
講	師	窪	田	叔	子